

【がん啓発PJ】いのちを守る！がん啓発プロジェクト始動「がん検診をもっと身近に」

#この特集一覧 #がん #がん検診 #生活習慣

♡お気に入り登録

日本人の2人に1人が「がん」にかかり、3人に1人が「がん」で亡くなっていると推計されています。がんは、早期に発見、早期に治療すれば「治せる病気」でもあるため、がん検診を定期的に受けることが重要となります。また、生活習慣を見直すことで、予防できる「がん」もあります。そこで、「がん検診をもっと身近に」をスローガンに、がんの予防啓発を推進するプロジェクトを始動！9月は公益財団法人日本対がん協会が定めた「がん征圧月間」です。そこで、第1回目となる今回は、誰もが知っておきたい「がんの基礎知識」とすぐに始められる「がんの予防と対策法」について解説します。正しい知識と行動で、「がん」から大切な「いのち」を守りましょう！



監修/関谷 剛先生

そもそも「がん」って？

「がん」は、別名“悪性腫瘍”といます。

悪性腫瘍は「体の中にできた異常な細胞のかたまり」であり、無秩序に増殖しながら周囲にしみ出るように広がる「浸潤」や、体内のほかの場所へ新しい腫瘍をつくる「転移」をします。

がんのもとであるがん細胞は、正常な細胞の遺伝子に2～10個ほどの傷がつくことで発生します。この傷は、長い期間をかけて徐々に誘発されることがわかっています。

このように、がんは「遺伝子が傷つくことで起こる病気」です。一部のがんにはウイルス感染などが関係している場合もありますが、がんが人から人にうつることはありません。